



平成 28 年 1 月号 (第 236 号)



平成 27 年版環境白書を発行しました .....P.3  
2 月は放置自動車ゼロ推進月間です！ .....P.4



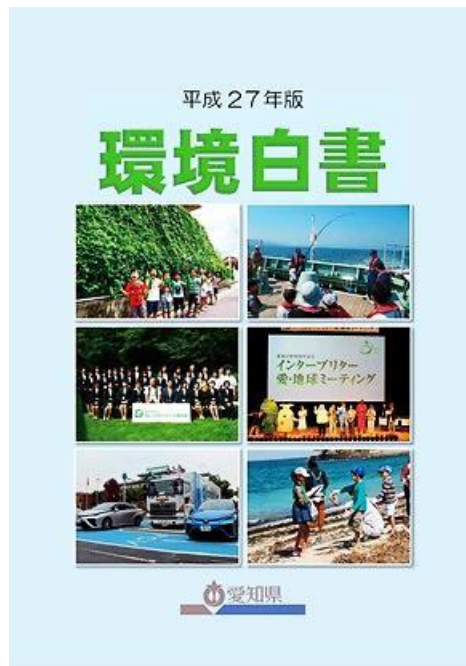
その他 環境情報が満載 .....P.2 ~ P.8



化学物質セミナーを開催しました



「平成 28 年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール」で文部科学大臣賞を受賞しました！



平成 27 年版環境白書を発行しました



エコアクションを  
はじめよう！つづけよう！つなげよう！

<http://aichi-eco.com>



## 「平成27年度VOC排出抑制セミナー」を開催します

PM2.5(微小粒子状物質)や、光化学オキシダントを生成させる原因物質の一つであるVOC(揮発性有機化合物)の排出を抑制する取組等を紹介するセミナーを開催します。皆さんの参加をお待ちしています。

- 1 日時 1月22日(金) 13:30~16:30
- 2 場所 中区役所ホール  
(名古屋市中区栄四丁目1番8号)
- 3 主催 中部経済産業局、愛知県、名古屋市、  
愛知県中小企業団体中央会

### 4 内容

#### (1) 講演

「愛知県のVOC排出抑制の取組等について」

愛知県環境部大気環境課職員

「VOC排出削減対策最新動向について」

(一社)産業環境管理協会人材育成・出版センター

所長 遠藤 小太郎 さん

「製品含有化学物質管理のポイント

～拡大する法規制への対応のために～」

みずほ情報総研(株) 環境エネルギー第2部

シニアマネージャー 菅谷 隆夫 さん

#### (2) 取組事例

「VOC排出削減対策事例紹介及び自動車業界の取組について」

トヨタ自動車(株) プラント・環境生技部

グループマネージャー 浜井 満彦 さん

「VOC排出削減対策事例紹介及び印刷業界の取組について」

富士特殊紙業(株)

代表取締役社長 杉山 仁朗 さん

### 5 申込方法

1月15日(金)までに次のWebページから申込書をダウンロードし、お申し込みください(参加無料、先着順、定員300名です。)

(<http://www.pref.aichi.jp/0000088711.html>)

〔大気環境課 規制グループ  
電話 052-954-6215 (ダイヤルイン)〕

## 「平成27年度アスベスト対策に関する講習会」を開催します

建築物解体時におけるアスベストの飛散防止の取組を一層推進するため、アスベスト対策講習会を開催します。皆さんの参加をお待ちしています。

- 1 日時 1月28日(木) 13:30~15:30
- 2 場所 中区役所ホール  
(名古屋市中区栄四丁目1番8号)
- 3 主催 愛知県アスベスト対策協議会、  
愛知県、名古屋市

### 4 内容

#### (1) 講演

「解体等工事におけるアスベスト飛散防止対策について」

(一社)愛知県建設業協会

環境アドバイザー 鬼頭 正克 さん

「石綿障害予防規則について

～煙突からのアスベスト飛散対策を中心に～」

愛知労働局労働基準部健康課職員

#### (2) その他

「解体等工事におけるフロン類の適正処理について」

愛知県環境部大気環境課職員

### 5 申込方法

1月21日(木)までに次のWebページから申込書をダウンロードし、お申し込みください(参加無料、先着順、定員470名です。)

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/taiki/280128kousyukai.html>)

〔大気環境課 規制グループ  
電話 052-954-6215 (ダイヤルイン)〕

## 平成27年版環境白書を発行しました

環境白書は、愛知県の環境の状況及び環境の保全の施策をとりまとめたもので、県環境基本条例に基づき、毎年議会へ報告しています。

昭和46年の初刊発行以来45冊目となる「平成27年版環境白書」は、「愛知万博から10年の歩み」を始め、今年的主要な事業やプロジェクトを特集として巻頭で紹介しています。

構成は、次の2部構成になっており、巻末に環境基準等の各法令に基づく基準値などを資料編として加えています。

### ○ 第1部「特集」

#### 特集1 愛知万博から10年の歩み ～自然の叡智とともに歩んだあいちの環境への取組～

県で開催された愛知万博、COP10、ESDユネスコ世界会議の成果や、これらの経験を生かした県の取組を紹介。

#### 特集2 愛知万博10周年記念「インタープリター愛・地球ミーティング」

平成27年10月に開催した「インタープリター愛・地球ミーティング」を紹介。

#### 特集3 持続可能な未来のあいちの担い手育成「人づくり」～かがやけ☆あいちサステイナ研究所～

環境面におけるリーダー育成のため、平

成27年8月に設立した「かがやけ☆あいちサステイナ研究所」の活動内容を紹介。

### ○ 第2部「平成26年度の環境の状況と施策」

平成26年度における県の環境の状況とその保全のための施策を掲載しています。

#### <環境白書をご覧になりたい方は>

環境部Webページ「あいちの環境」に全文を掲載しています。

(<http://www.pref.aichi.jp/0000057223.html>)

また、愛知県県民相談・情報センター（愛知県自治センター2階 情報コーナー）では、1部990円で販売しています。



すぎうら 杉浦環境部長からよこいごろう 横井五六県議会議長(中)及びすぎうらたかしげ 杉浦孝成県議会副議長(右)へ報告(12月15日)

環境政策課 企画・広報グループ  
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン)

## 連載◎ エコリンクあいちだより

<http://aichi-eco.com/>

エコリンクあいちに日記を投稿している「かがやけ☆あいちサステイナ研究所」の活動を紹介します。

同研究所は、パートナー企業から環境の取組に関する課題を学生に提示し、その解決プランを学生が研究し、パートナー企業へ提案するものです。

### ○ チーム・東邦ガスの活動

東邦ガス(株)では、親子向けの啓発イベントや学生向けの環境講座、ビオトープでの生物多様性保全活動など様々な環境活動を行っています。その中でも学生が注目したのは「エコ・クッキング」活動です。学生た



みんなで Let's エコアクション!  
あいちエコアクション広報部

OS\*U ほしのまりあ  
星野麻里愛  
Osu Super Idol Unit

環境政策課 企画・広報グループ  
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン)

ちは、この活動をさらに魅力的なものとし、より多くの方が参加できる方策を提案しました。詳細はFacebookをご覧ください。



東邦ガス担当者と議論する学生

<https://www.facebook.com/kagayaken>

## 2月は放置自動車ゼロ推進月間です！

愛知県では、2月を「放置自動車ゼロ推進月間」に定め、県内全域で路上や公園等に放置されている自動車の一掃に努めています。

平成14年7月に自動車リサイクル法が施行されたことに伴い、放置自動車の発見台数は、平成14年度の6,339台をピークに平成26年度には356台と減少傾向にあります。都市部を中心に道路、公園、河川敷等に未だに多くの自動車が放置されており、道路交通上の障害や環境保全上の問題が生じています。

このため、期間中、放置自動車の早期発見に向けてのパトロールの強化、長期間放置されている放置自動車の撤去や一時保管場所への移動を行うとともに、広く県民や事業者の皆さんに啓発を行います。

放置自動車をなくすため、次の事項に是非ご協力ください。

- ・ 放置自動車を見つけた場合は、発見場所の市町村役場又は県環境部資源循環推進課に連絡をお願いします。
- ・ 不要となった自動車は、自動車販売店など適切に処理できる事業者を引き渡してください。



放置自動車の撤去

資源循環推進課 一般廃棄物グループ  
電話 052-954-6234 (ダイヤルイン)

## 産業廃棄物税制度を継続します

愛知県では、産業廃棄物の発生の抑制、再利用及び再生利用の促進、最終処分場の設置促進、その他適正な処理の推進を図り、循環型社会の実現に資することを目的として、平成18年4月から「愛知県産業廃棄物税条例」を施行しています。

この条例では、施行後5年を目途として、条例の規定について検討を加えることとしています。

このため、県では、昨年、有識者や産業界の方々で構成する「愛知県産業廃棄物税検討会議」において、産業廃棄物税の導入効果を検証するとともに、今後のあり方を検討しました。

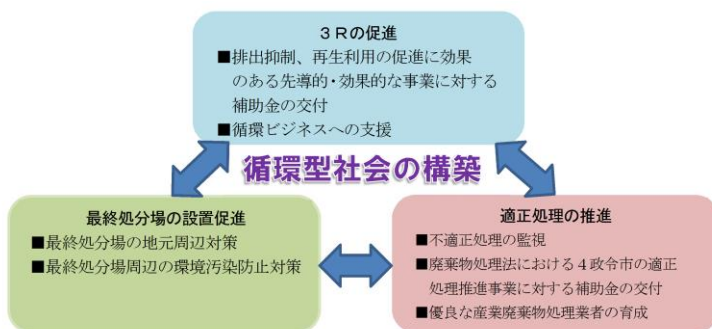
検討会議では、次の3つの点から評価され、社会全体がより一層、廃棄物の発生を抑制し、再生利用量の増加や最終処分量の減少を目指す上で、現行税制度はその枠組みを変えることなく、引き続き、施行していくことが適当であると判断されました。

①現行の税制度は納税者から一定の理解が得られていること。②税の目的に合致した特色ある充当事

業が、適切に実施されていること。③産業廃棄物税は、再生利用の促進や最終処分量の抑制に、一定の効果・成果が得られていると考えられること。

この検討結果を受け、平成28年度以降も、引き続き現行の税制度を継続することとし、再び5年を目途に制度についての検討を加える旨の条例改正を行いました（平成28年4月1日施行）。

県は、引き続き産業廃棄物税制度を適切に運用し、循環型社会の実現に向け、各種施策を推進します。



産業廃棄物税の使途

資源循環推進課 産業廃棄物グループ  
電話 052-954-6235 (ダイヤルイン)

## 環境活動ステップアップ講座の参加者を募集します！

愛知県では、「あいち森と緑づくり税」を活用し、森や緑の保全活動や環境学習を行う NPO、市町村などに対し、「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金」による支援を行っています。

このたび、この事業を実施している団体や、森と緑づくりのための保全活動・学習事業を実施している団体の方を対象に、より安全に活動でき、より効果的な PR ができるよう環境活動ステップアップ講座「野外体験活動 初・中級活動者研修」を開催しますので、是非ご参加ください。なお、参加費は無料ですが、事前申し込みが必要となります。

### 1 研修(講座)のテーマ、内容及び日時

「企画と広報の充実が活動仲間と参加者を増やす」

- ・企画と広報の基礎と上達テクニックを学ぶ、企画広報の実践トレーニング

- ・1月14日(木)～17日(日)のいずれか1日

10:00～16:00

「安全管理の手法を学ぶ」

- ・救急救命講習、危険予知発見ワークショップ
- ・1月28日(木)～31日(日)のいずれか1日

10:00～16:00

2 定員 各日 25名(申込先着順)

3 実施場所 愛・地球博記念公園内 もりの学舎まのびや

4 申込先及び問合せ先

〒460-0001 名古屋市中区三の丸 3-2-1

愛知県東大手庁舎 1階 あいち環境学習プラザ

Eメール: kankyokatsudo@pref.aichi.lg.jp

FAX: 052-972-9013 電話: 052-972-9011

詳細は Web ページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/0000088778.html>)

環境活動推進課 環境学習グループ  
あいち環境学習プラザ  
電話 052-972-9011 (ダイヤルイン)

## 化学物質に関するセミナーを開催しました

化学物質は、快適な生活に欠かせない一方で、使い方を誤ると人や動植物に悪影響を与えてしまうおそれがあることから、適正に管理して正しく使用する必要があります。このため、愛知県は名古屋市と共同で、化学物質に関するセミナーを開催しました。

化学物質を取り扱う事業者の皆さんを対象に、10月19日に伏見ライフプラザ鯉城ホールで開催した「化学物質適正管理セミナー」では、化学物質の適正管理に詳しい専門家の方から、大規模地震に備えた化学物質の震災対策や火災・漏えいなどの事故対策について講演をしていただきました。

また、県民の皆さんを対象に、10月29日に愛知芸術文化センターで開催した「化学物質セミナー」では、淑徳大学きたのまさる 北野大 教授から、化学物質との付き合い方やその必要性、安全性について講演をしていただきました。

参加者の皆さんは、農薬や食品添加物などに含まれる化学物質に関する説明に熱心に耳を傾けていました。

なお、当日の講演資料は Web ページで公表していますので、ご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/katsudo-ka/jigyoprtr/>)



化学物質適正管理セミナー

環境活動推進課 環境リスク対策グループ  
電話 052-954-6212 (ダイヤルイン)

おいだいら  
**岡崎市立生平小学校が「第50回全国野生生物保護実績発表大会」  
 で林野庁長官賞を受賞しました！**

11月30日、環境省講堂において「第50回全国野生生物保護実績発表大会」（主催：環境省・（公財）日本鳥類保護連盟）が開催され、全国から推薦を受け一次審査を通過した小学校等9校が参加しました。

この大会は、野鳥を始めとした野生生物保護の活動を通して得た経験などを発表することで、子どもたちの野生生物保護への関心と理解を深めてもらうことを目的に、昭和41年から毎年開催されています。



受賞後の記念撮影

愛知県が推薦した岡崎市立生平<sup>おいだいら</sup>小学校は、ツバメの営巣調査、里山保全活動、愛鳥新聞の発行などに取り組んでおり、「ふるさとに学び ふるさとに生きる 生平っ子」をテーマとして活動の成果を発表したところ、高い評価を受け、林野庁長官賞を受賞しました。



ツバメの営巣調査

〔 自然環境課 野生生物・鳥獣グループ  
 電話 052-954-6230 (ダイヤルイン) 〕

**愛知県選考作品が「平成28年度愛鳥週間用ポスター原画  
 コンクール」において文部科学大臣賞を受賞しました！**

（公財）日本鳥類保護連盟主催の「平成28年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール」において、全国69,519点の中から、東浦町立北部中学校2年の渡邊<sup>わたなべ</sup>紫花<sup>すみれ</sup>さんの作品が文部科学大臣賞を受賞しました。

このため、12月17日に愛知県公館において伝達式を行い、知事から渡邊さんに賞状と楯を授与しました。

当コンクールにおいて、愛知県で761の小・中・高等学校から全国最多の30,773点の応募があり、このうち85点を愛知県優秀作品として選考し、さらにその中から特に優秀と認められた27点を愛知県選考作品として（公財）日本鳥類保護連盟へ推薦しました。

県では、愛知県優秀作品85点を1月9日～14日と1月30日～2月14日に愛知県弥富野鳥園において展示するとともに、愛知県選考作品27点を平成28年度愛鳥週間期間（平成28年5月10日～16日）

に県庁本庁舎、西庁舎の地下連絡通路において展示する予定です。



文部科学大臣賞

<sup>わたなべすみれ</sup>  
 渡邊紫花さんの作品

〔 自然環境課 調整・施設・自然公園グループ  
 電話 052-954-6227 (ダイヤルイン) 〕

## あいち地球温暖化防止戦略・ あいち自動車環境戦略推進大会を開催しました

「あいち地球温暖化防止戦略 2020」及び「あいち自動車環境戦略 2020」の施策を県民、事業者の皆さんに広く周知し、その推進を図るため、12月18日に中電ホール（名古屋市東区東新町）で、340名の参加をいただき、「あいち地球温暖化防止戦略・あいち自動車環境戦略推進大会」を開催しました。

第1部では、大村知事の主催者あいさつ、杉浦県議会副議長の来賓あいさつの後、自動車エコ事業所認定証（5事業所）の授与式、あいちCO<sub>2</sub>削減マニフェスト2020認定証（8事業者）の授与式及びあいち緑のカーテンコンテスト優秀事例（12者）の表彰式を行いました。



知事による表彰式

第2部では、「低炭素社会づくりフォーラム」を実施しました。まず、東京工業大学 柏木孝夫特命教授・名誉教授から、「日本のエネルギー・環境戦略」と題して基調講演がありました。

講演では、COP21での「パリ協定」の採択や、電力自由化などを踏まえ、地域内全体のエネルギーの需要と供給を最適にコントロールする「スマートコミュニティ」に向けた取組の進展や、それに伴うエネルギー事業者及び、家庭を含むユーザーのそれぞれにおけるエネルギーへの向き合い方の変化など、エネルギー・環境に関する今後の見通しについて、分かりやすく解説いただきました。



東工大柏木特命教授の講演

続いて、「低炭素社会を牽引する愛知」をテーマに、柏木孝夫特命教授を座長、名古屋大学 杉山範子特任准教授をインタビュアーとして、中部電力（株）伊藤久徳経営戦略本部部長、東邦ガス（株）服部雅夫環境部長、トヨタモーターエンジニアリングアンドマニュファクチャリングノースアメリカ 近藤元博シニアバイスプレジデント、豊田市 太田稔彦市長、愛知県 森岡仙太副知事をパネリストとして、パネルディスカッションを開催しました。

伊藤部長、服部部長からは、電力・ガス自由化などを踏まえて、スマートコミュニティの実現への取組も含めた今後の企業戦略について紹介がありました。近藤シニアバイスプレジデントからは、自動車とスマートコミュニティの関わりや、工場と地域の連携によるエネルギーマネジメントなど、モノづくり企業としての取組の紹介があり、また、太田市長からは、スマートハウスの実証事業、自動車の蓄電・発電機能の活用、「とよたエコフルタウン」など、同市の先進的な取組が紹介されました。

さらに森岡副知事からは、業務・家庭部門のCO<sub>2</sub>削減に向けて、個々のビルや住宅のエネルギー効率をアップするだけでなく、地域のエネルギー効率を高めるスマートコミュニティの形成が重要であることや、県内の先進事例について紹介しました。

参加した方々は、柏木特命教授の講演やパネルディスカッションの議論を熱心に聴き入っていました。



パネルディスカッション

大気環境課地球温暖化対策室  
温暖化対策グループ  
電話 052-954-6242（ダイヤルイン）  
自動車環境グループ  
電話 052-954-6217（ダイヤルイン）



## 連載「生態系ネットワーク形成の取組紹介(5)」

### ～東三河生態系ネットワーク協議会～

#### 1 はじめに

生態系ネットワーク形成の取組紹介の第5回は、平成26年2月に設立された東三河生態系ネットワーク協議会(以下「協議会」という。)の取組です。

東三河地域は、古代「穂の国」と呼ばれ、豊川の豊かな自然の恩恵を受けて、人々の生活が営まれてきたことから、協議会では、「穂の国いきものがたり子どもたちへ 水と緑でつなげよう」をテーマに掲げて、活動を展開しています。ここでは、協議会が展開してきた主な取組について紹介します。

#### 2 協議会の取組

##### (1) 生態系ネットワークフォーラム開催

平成26年11月と平成27年11月に、生態系ネットワークフォーラムを開催しました。

フォーラムでは、ひらいしあきら平石明 豊橋技術科学大学教授による基調講演と、地域の活動団体による取組事例発表やパネルディスカッションを行い、生物多様性と生態系保全の意義、地域の自然環境と保全活動の必要性等について、広く情報発信しました。



聴講する高校生

特に今年は、若い人々の取組を知ってもらうため、地元の高校(国府高校・桜丘高校)や大学(豊橋技術科学大学・愛知大学)からも発表等を行っていただきました。

##### (2) 環境学習バスツアー開催

平成27年8月、小学生の親子向け環境学習バスツアーを開催しました。

参加者は、竹島水族館や蒲郡市生命の海科学館を

見学し、施設スタッフからの説明を受け、身近な自然から生きもののつながりを学習しました。

また、移動中のバスの車内でも、かしのやすみつ梶野保光協議会長らが、竹島の自然や海と山のつながり、生物多様性について、紙芝居とクイズ形式で説明するなど、多様な主体が連携する協議会ならではの特徴ある環境学習を展開しました。



説明に聞き入る子供たち

##### (3) ビオトープ創出

平成27年1月、豊橋市の愛知大学構内にシジウカラを中心とした小鳥たちのビオトープを創出しました。

大学生を始め多くの方が参加し、高木の下に、ガマズミやセンリョウといった小鳥たちの好む実のなる木を中心に植栽しました。

また、現存する高木には巣箱を設置しました。



植樹を行う参加者

#### 3 今後の展望

協議会は、今年度新たに2団体が加盟して24団体になりました。協議会が掲げるネットワーク形成は、生きものの生育・生息空間のつながり、多様な主体のつながりばかりでなく、次世代へのつながりにまで及びます。今後も若い世代を取り込む活動を展開していきます。

次回は、尾張北部及び渥美半島生態系ネットワーク協議会について紹介します。

〔 自然環境課 生態系ネットワークグループ  
電話 052-954-6229 (ダイヤルイン) 〕

愛知県環境情報紙「環境かわら版」  
平成28年1月4日発行(第236号)  
編集・発行 愛知県環境調査センター  
企画情報部  
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6  
電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

#### 編集後記

新年明けましておめでとうございます。  
都市部で問題となっている「ヒートアイランド現象」は、実は冬のほうが気温の上昇が顕著になっているのをご存じですか？  
暖房温度を高くし過ぎない、車のアイドリングを控えるなど、今年も身近なところから、「エコアクション」に取り組みしましょう！

(企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境部 Web ページ「あいちの環境」<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。この記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。